2017年8月号「vol.86」◎編集：新井絹世　横浜市磯子区丸山2-10-6　◎電話：045-751-5250 ◎FAX：045-751-7600

県議会議員

あらい絹世の 磯っ子レポート

県政をもっと身近に

http://www.araikinuyo.jp

県が保全・整備に努める三浦半島「小網代の森」
源流域から干潟・磯まで…楽しめる多様な自然

夏真っ盛り。海や山が恋しいシーズンですが、これらが手軽に楽しめる自然が身近にあります。相模湾に面した三浦半島の先端にある「小網代（こあじろ）の森」です。約70ヘクタール（東京ドーム15個分の広さ）の森で、神奈川県が近郊緑地特別保全地区に指定し、貴重な自然の場を保護するとともに散策路を設けるなど人々が気軽に親しめるよう整備に取り組んでいます。今年6月下旬、県議会環境農政常任委員会のメンバーとして視察してまいりました。

森の中央部を横断している谷筋には浦の川（全長1・2キロ）が流れ、源流域から海に注ぐまで森林、干潟、磯の自然景観が連続して楽しめ、多種多様な生き物たちの生態系も観察できます。こうした場所は関東地方でも唯一という貴重なゾーンです。またこの森は「手つかずのまま保全されてきた自然」ではなく、かつては田畑だった谷が使われなくなり、雑草が生い茂ったままの所を土地買収し、整備を加えた「自然の森ではあるが人が整備をしないと成り立たない自然」という特色を持っています。

この場所は昭和40年代、京急グループが宅地開発、鉄道延伸などの開発を計画。同50年にはゴルフ場開発に計画変更され、反対の署名運動も起きました。県は平成7（1995）年、三浦市と事業者に保全の意向を提示し、保全決定しました。1997年から「かながわトラストみどり基金」を財源とする土地買収を始め、県費や国の補助金を主体に2010年までに用地取得を終えました（総額78億円）。県は「生物多様性豊かな多自然流域」として再生・創出していく方針で、昨年度まで園路階段、説明板、転落防止柵などを整備（3億3141万円）してきましたが、2014年7月には全長1400メートルの木道の散策路を設け、森の一般開放がスタートしたことで身近な存在となりました。

小網代の森は豊かな生態系が形成されていることが大きな魅力ですが、春から秋にかけて見られる無数のチゴガニのダンスはここの名物。シンボルは木に登る姿がよく見られるアカテガニ。一時激減したゲンジボタルが1000個体以上に増え、トンボのサラサヤンマの増殖も確認されています。小網代の森の開園時間は4～9月が7～18時、10～3月が7～17時。

問い合わせは小網代野外活動調整会議☎045（540）8320へ。

コレが言いたい！

2016年の小網代の森の年間利用者は45,000人。目標値115,000人の約40％程しか達成していません。三浦半島の他の観光地や観光資源と連携を図りながら、小網代の森の魅力を高めて行くべきです。現在、小網代の森には仮設トイレしか有りません。観光地のリピーターを増やすにはトイレの改善は重要であると考え、我が会派の提案により今年度中にトイレ整備も行われます。

今月のひと言

はまぎんこども宇宙科学館では、夏休みの特別企画として当日受付の、「スポンジアート」や「万華鏡づくり」などの工作教室を行っています。また、当日自由参加出来るイベントも多数開催。子供達の夏休みの自由研究に活用してみては？

磯子 あれ？これ？

区制90周年を記念して（室の木古墳）

室の木古墳は、昭和8（1933）年6月に旧大蔵省から民間に払い下げられた、浜マーケット裏から磯子小学校向かう途中の一角（旧磯子区濱395番地）の土地を宅地開発した際に発見されました。

このあたりが江戸時代字（あざ）名で「室の木」と呼ばれていたことから室の木古墳と命名されました。その後、発掘調査がおこなわれ、7世紀の古墳時代末期のものと推定されました。盗掘や開発の際に大部分が破損されてしまいましたが、調査の結果、副葬品として埴輪の頭部や直刀破片、装飾馬具など約200点が出土しました。それらの出土品は国立東京博物館に収納されました。また出土品から推察すると、縄文から古墳時代にかけて三殿台で暮らしていた人達が、水田耕作の発達とともに丘の上から飲料水や農業用水を確保しやすい谷戸（やと）に移り住み、その後、更に浜辺に近い平地へ移動して稲作中心の生活から農業以外に馬の飼育や漁もおこなっていたのではないかと推察されます。

室の木古墳で注目すべきことは、金銅製の馬具や鉄製の武器などが出土したことです。このことから、この地方の支配者（豪族）はすでに軍馬を持ち、ある程度軍隊を保有したとみられます。

参考資料：磯子の史話

活動報告

7月7日、自民党神奈川県連女性議員局で7回目の子育て支援に関して、茅ヶ崎市役所・児童養護施設「白十字会林間学校」の視察を行いました。

茅ヶ崎市役所で行っている子どもへの伝わりやすい言い方・ほめ方・注意の仕方を練習する講座「ほしつ☆メソッド」を体験。

児童養護施設「白十字会林間学校」。

環境農政常任委員会で小田原漁港の視察を行いました。平成30年度には漁港に道の駅のような交流促進施設が出来、まちづくりを兼ねた漁港の再整備が進んでいます。

あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日　横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井㈱ / ㈱メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成27年4月 県議会議員2期目当選
- 環境農政常任委員会委員
- 社会福祉審議会委員
- 社会問題対策特別委員会副委員長
- 政務調査会副委員長

あらい絹世に対するご意見・ご感想・ご要望・メッセージをお寄せ下さい・・・・・・・・・・・ FAX 045-751-7600